



第59回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会に適用する規則は、2026年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。
- (2) WAの競技規則 TR6の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

※ 競技用靴・靴底厚さ表

種目	靴底最大の厚さ	要件備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競争	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。(前足の中心は、靴の内部の75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの12%にある靴の中心点)

※その他詳細、WA 承認靴リストについては、日本陸連ホームページを参照すること

(3) イエローカード(以下、YC)について

- ① WA競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームに YC を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- ② 同一種目で2回の YC の提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC を提示の累積は、当該種目のみに適用する。

2 練習について

- (1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	多目的広場
8月17日(火)	14:00~15:40	14:00~20:00
18日(水)	14:00~15:40	14:00~20:00
19日(木)	14:00~15:40	14:00~20:00
20日(金)	14:00~15:40	14:00~19:00

※ 本競技場では、競技会運営の準備も並行しておこなうので、安全に十分注意すること

- (2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。また、用具については、多目的広場を含め競技場備え付けの物を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。
- (3) トラックのレーンの使用については、以下の通り。
1・2レーン：中長距離・競歩 3～6レーン：短距離(リレー練習含む)
7・8(直線の9)レーン：ハードル
- (4) 本競技場のフィールド内芝生は、全面立入禁止とする。
- (5) 投てき練習(メディシンボール練習等も含む)は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。
- (6) 練習会場での練習は、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、雨天練習場に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 電子通信機器は、招集所内・競技エリア内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受ける。
 - ② トラック種目は、競技者係の点呼を受け、オープンレーン種目については同時に腰ナンバーを受け取り、右腰のやや後方につけること。競歩種目は、別ビブスも受け取ること。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、



第59回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

第1種目の招集開始時刻までに、本人が所定の「多種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)を競技者係へ提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼(アスリートビブス、競技で使用するシューズの確認)を受けておくこと。

④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) リレー種目について

① 「オーダー用紙」は、各ラウンド(予選・決勝)ともに、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)へ提出すること。プログラム巻末の所定の用紙に、必要事項を記入のうえ提出し、「控え」を受けとること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。

③ 4×400mRの第2・3走者は、次走者の待機順を明確にするため、左腰に腰ナンバーをつける。

④ ユニフォームは、同一校と判断できるものを原則とする。

(6) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の指示に従うこと。

(7) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

① トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選・投てき競技の決勝の試技順は、すべてプログラム記載左側に示された番号順とする。なお、決勝の組み合わせは、すべて番組編成員がおこない、場内アナウンスするとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部のWEBページ」に掲載する。

② トラック競技における次のラウンドへの進出者について

(ア) $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

・レーンに余裕がある場合：同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。

・レーンに余裕がない場合：本人または代理人により抽選する。

(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $(+\alpha)$ での進出者数を減らす。

(2) 競技について

① 競技結果については、場内アナウンス発表するとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部WEBページ」に掲載する。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点を正式発表とする。

② 当該種目出場競技者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。

③ スパイクのピンの本数は、11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。

④ アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。

⑤ 不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。

(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)

⑥ トラック種目の、男女100m 200m 100mYH 110mJH リレー種目以外は、タイムレース決勝とする。

⑦ 男子3000mはスタート後11分で、女子3000mはスタート後15分で、男女3000mWはスタート後25分で競技終了とする。

⑧ 男女3000m・男女3000mWは、危険防止のためグループスタートでおこなう。

⑨ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。

⑩ 4×100mRのマーカ―は、競技終了後、必ず自チームのマーカ―を前走者が取り除くこと。

⑪ フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像等の録画再生機器等をコーチ席前に限り手渡しによる競技エリアへの持ち込みは可能とする。ただし、危険防止の観点から、メインスタンドからの受け渡しは「受け渡し可能エリア」から、各校で準備した吊り下げなどの器具を使用して行うこと。

⑫ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

男子 走高跳	1年	(練習) 1m45 1m65 1m75	1m50-55-60-65-70-75-80- 1m83-86- 以後 3cm ずつ
男子 走高跳	2年	(練習) 1m55 1m70 1m86	1m60-65-70-75-80- 1m83-86- 以後 3cm ずつ



第59回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

女子 走高跳	1年	(練習) 1m06 1m36 1m50	1m11-16-21-26-31-36- 1m41-44- 以後 3cm ずつ
	2年	(練習) 1m06 1m36 1m50	1m11-16-21-26-31-36- 1m41-44- 以後 3cm ずつ
男子 棒高跳	1年	(練習) 任意の高さ	2m35-55-75-95- 3m05-15- 以後 10cm ずつ
	2年	(練習) 任意の高さ	2m35-55-75-95- 3m05-15- 以後 10cm ずつ
女子 棒高跳	1年	(練習) 任意の高さ	2m07-27-47- 2m67-77- 以後 10cm ずつ
	2年	(練習) 任意の高さ	2m07-27-47- 2m67-77- 以後 10cm ずつ

※ 同記録による1位決定と近畿大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cmとする

- (4) 男女走幅跳、三段跳びは、1年Aピット、2年Bピットでおこなう。
- (5) 三段跳の踏切板は、男子：11m00、女子：9m00に設置する。
- (6) 投てき種目において、3位の選手が同記録の場合は、近畿大会出場権決定戦をおこなう。その方法は、以下の通りとする。
- ① 3位の選手でおこなう。
 - ② 2回の試技をおこなう。試技順は抽選で決める。
 - ③ 2回の試技で決まらない場合は、同じ試技順で更に2回の試技をおこなう。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。競技終了後(決勝)、競技場所または南用器具庫で返却する。
- 検査時刻は、競技開始時刻の80分前から60分前までとし、南用器具庫でおこなう。

6 表彰について

- (1) 各種目3位(リレーは6位)までの入賞者には賞状を授与する。正式結果の通告後、速やかに本部表彰係まで受け取りに来ること。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので、当該校(者)は必ず参加すること。
- ① 総合6位までに入賞した学校(男子総合、女子総合、学年別男子総合、学年別女子総合)
 - ② 男女各総合優勝校の顧問・監督

7 一般的注意事項

- (1) 競技場の開門は、3日間とも14時00分とする。
- (2) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行い、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。
- ※第2曲走路外側のスタンドは、競技の円滑な運営と安全確保のため、立ち入りを、「出場選手」「引率・指導の顧問」「大会役員・関係生徒」のみに限定する。
- (3) 競技場内の第二曲走路外側をコーチングエリア(撮影エリアを兼ねる)とする。
- (4) 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (5) 更衣室の使用は更衣のみとし、私語はせず、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (6) 雨天練習場への立ち入りは、混雑や混乱を防ぐため、招集を受ける選手、更衣室を使う方、走幅跳・三段跳の競技中の選手のみとする。
- (7) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。
- (9) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。
- (10) 個人情報の取り扱いに関して
- ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。